

2002年春夏大阪コレクション

不思議なおいの服 アンケ



アンケ・ロー



フランク・リーダー



ウエンディ&ジム

二〇〇二年春夏大阪コレクションが十九日から始まった。初日は古川雲雪、ヨーロッパプロジェクト、中川正博&Licaのショーが開かれた。

アンケ・ロー(アンケ・ロー)は、不思議な服を静かに見せた。体の一部に砂

を付けたモデルが着る服は、普通の形をしていない。イレギュラーなピキニトップや裏返しスカートを釣っているスカートなど、体を布で包むのではなく、服をアクセサリーのように扱っている。

遊び心や楽しさを素直に表現したのはフランク・リーダー(フランク・リーダー)・おしりが見えそうな短いシャツドレスは、前後

を切り替えたギンガムチェック、ミリタリーコートは裾をニットに切り替えて、ドレスに変身させている。パンツのひざやドレスのウエストにテープをぐるぐるに巻き付けた。

ウエンディ&ジム(ハルマン・ファンクハウゼル&ヘルガ・シャニア)は、シルクやチュールなどを使って迫力ある服をデザインした。足に紙(びょう)付きベルトを巻き付けたソールのないサンダルや、布ベルトをよじって首から釣り下げた体に張りつくようなブラジャードレスなど。

20471120(中川正博&Lica)は、一九九九年から取り組んでいるリサイクルプロジェクトの代表作と新作を披露した。「再生」をコンセプトに作

った服は、はき合わせデニムや白いパウダーを振りかけたような風合いが新鮮な迷彩柄。レースを加えたり、布を造形的に使って新しく作り上げた。テープ状のレザーをはき合わせ、組み木のソールを合わせたウツドソール靴も楽しい。

◇ 古川雲雪は二〇〇二年春夏からスタートするユニバ

ーサルデザインブランド「間(ま) ウンセツ」を紹介した。環境ファッションを追求してきた雲雪が、日本人独特の「間」に着目して発想する癒(いや)し服。淡いミントグリーンやピンクなどのアンタイドストーンのオフィスウエア、作務衣をモチーフにしたタウンウエア、きものデザインを入れたフォーマルウエアを見せた。

(古)

イクルプロジェクトの
から新作まで勢ぞろい

20471120

セツ